

「海外の重要動向 & 国内重要動向」

開催日時：2025年7月18日（金） 15時30分～16時30分

司会進行：太陽光発電事業支援部 金井 さつき

① 海外の重要動向（15分程度）

調査事業部 主任研究員 岡崎 順子



② 太陽光発電ビジネスガイド（2025年版）（5分程度）

太陽光発電事業支援部 主任研究員 江澤 直史



③ 国内の重要動向（15分程度）

太陽光発電事業支援部 主任研究員 江澤 直史

④ 質疑応答（10分程度）

*** 皆様からのご質問は、Q&Aへの書き込みをお願いいたします**

● 本日の講演者のご紹介



岡崎 順子（おかざき じゅんこ）
調査事業部 海外グループ
主任研究員

中国をはじめとした海外の太陽光発電普及政策や産業動向等の調査・分析を担当している。太陽電池生産量、導入量ともに世界第1位である中国の動向は国内外（または海外市場のみならず我が国の）太陽光発電市場にも大きな影響を与えることから、中国の最新動向を常に追いかけて、世界へ波及する流れをいち早く分析してお届けしたいとの思いで業務に取り組んでいる。



江澤 直史（えざわ なおふみ）
太陽光発電事業支援部
主任研究員

産業・業務用電機メーカーにて省エネ機器の開発に携わり、太陽光発電設備に関連する周辺機器の企画から開発までを担当。太陽光発電所発電所や蓄電池設備の関係する制度、システム、ビジネスとその変化について精通し、「太陽光発電ビジネスガイド（2024年版）」では編集を手掛けた。太陽光発電業界の事業の発展、成長に寄与できるよう、わかりやすい発信を心掛けている。

再エネ電力市場における 蓄電池ビジネスガイド（2025 年版）

目次	容量市場	需給調整市場	卸電力市場	蓄電FIP市場
はじめに				
1.電力市場用蓄電池活用ビジネスの概要				7.発電設備併設蓄電池市場（蓄電池付FIP市場）
2.電力市場用蓄電池活用に関する施策動向				8.複合市場（蓄電池付FIP転換＋三次②需給調整市場）
3.蓄電池事業推進のための補助金の活用				9.今後の市場見通しについて
4.容量市場				10.世界における系統用蓄電池の動向
4.1 メインオークション（追加オークションなど含む）				11.サプライヤの動向（蓄電設備、パワコン設備、アグリゲータの動向）
4.2 長期脱炭素電源オークション				12.系統用蓄電池事業のリスク
5.需給調整市場				13.蓄電池活用技術情報 用語解説
5.1 一次調整力市場				おわりに
5.2 三次調整力②市場				
6.卸電力市場				

概要	
発行元	株式会社資源総合システム（RTS Corporation）
提供形態	○約400ページ（媒体）：PDF（ダウンロード形式）（冊子も追加注文できます） ※ PDFと冊子は貴社内限定です。子会社や関連会社を含め配布は厳禁とさせていただきます。
価格 （消費税別）	会員：150,000円【「太陽光発電情報」または「PV発電事業最前線」に購読企業】 一般：180,000円 【オプション】 冊子：20,000円（送料込）【冊子のみの購入はできません】 プレゼンテーション：100,000円/1.5時間【リモート】 ※ 本書内容の主要部分の説明 【対面の場合は要相談（旅費交通費別途）】
発行年月	2025年2月

政府によるGX産業政策、各省庁による太陽光発電関連の政策を徹底解説！

再生可能エネルギー政策の重要ポイント 2025 ～日本のトップ電源へと期待が高まる太陽光発電～

目次

【本編】

1. 政府

・GX2040ビジョン

2. 経済産業省の施策

・第7次エネルギー基本計画
・調達価格等算定委員会
・次世代型太陽電池戦略
・次世代電力系統ワーキンググループ など

3. 環境省の施策

・地球温暖化対策計画
・地球温暖化対策推進法
・脱炭素先行地域の選定
・太陽光パネルのリサイクル制度のあり方 など

4. 国土交通省の施策

・空港脱炭素化推進計画
・道路法等の一部を改正する法律
・住宅トップランナー制度における太陽光発電の設置目標など

5. 農林水産省の施策

・農山漁村再生可能エネルギー法の基本方針改正など

6. 警察庁の施策

・金属盗対策に関する検討会など

7. 自治体の施策

・東京都の施策、ペロプスカイト太陽電池の導入支援など

8. 2025年度予算（太陽光・蓄電池関連の補助金等）

9. 再生可能エネルギー政策に関連する審議会

10. 付録 導入事例など

概要

発行元

株式会社資源総合システム（RTS Corporation）

提供形態

○約800ページ〈媒体〉：PDF（ダウンロード形式）（冊子も追加注文できます）

価格 （消費税別）

○電子データ（PDF）（貴社社内限定） 15,000円
○冊子（貴社社内限定）【冊子のみの購入はできません】（送料込） 20,000円
※オプション：プレゼンテーション*（旅費交通費別途） 100,000円/時間
*約1時間のプレゼンテーションを行います。時間内に全ての内容を詳細にご説明することはできませんので、事前にお客様のご要望をお伺いした上でプレゼンテーションを実施致します。

第二期大量導入展開に向けて 太陽光発電ビジネスガイド（2025年版）

主な内容

政策・業界動向

PPA・需給調整

O&M・価値向上

リサイクル・リユース

- ✓→第7次エネルギー基本計画と太陽光発電導入目標
- ✓→導入を進めるための政府省庁の取り組み
- ✓→太陽光発電を取り巻くビジネスの俯瞰と業界の動き
- ✓→電力ネットワークと電力取引の概要と課題
- ✓→PPAを中心とする導入の推進

- ✓→地方自治体における導入の取り組み
- ✓→電力の需給を調整するビジネス
- ✓→太陽光発電所の価値向上
- ✓→O&Mの効率向上
- ✓→太陽光発電を持続可能なビジネスへ

概要

発行元

株式会社資源総合システム（RTS Corporation）

提供形態

〈媒体〉：PDF（ダウンロード形式）（冊子も追加注文できます）

予定価格 （消費税別）

会員：120,000円【「太陽光発電情報」または「PV発電事業最前線」ご購読企業】
一般：150,000円
冊子：20,000円（送料込）【冊子のみの購入はできません】



詳細目次・
お申込み・
お問い合わせ
はこちら！

詳細目次とサマリー、お申込み方法はこちらをご覧ください。

<https://www.rts-pv.com/business/report/>

お問い合わせはこちらからお願いいたします。

<https://www.rts-pv.com/contact/>

日本の太陽光発電導入量予測 (2023-2035 年)

【目次】

1. 本導入量予測の概要
2. 太陽光発電の現状
3. 政府および関係府省庁・自治体による政策の動向
4. 普及環境の想定
5. 各市場の見通し
6. 太陽光発電システムの価格予測
7. 国内導入量（総量）
8. 導入量予測：現状成長ケース（ACベース）
9. 導入量予測：導入加速ケース（ACベース）
10. 導入量予測：現状成長ケース（DCベース）
11. 導入量予測：導入加速ケース（DCベース）
12. 蓄電システムの導入量予測

株式会社資源総合システム

TEL:03-3551-6345

info@rts-pv.com

www.rts-pv.com

太陽光発電 海外の重要動向



*Copilotによるイメージ画像です

2025年7月18日

(株) 資源総合システム 調査事業部 岡崎 順子

TEL:03-3551-6345 E-mail : okazaki@rts-pv.com URL: <http://www.rts-pv.com>

内容

1. 太陽電池・原料の価格動向
2. 中国の太陽光発電システム導入量
3. 米国の太陽光発電システム向けインセンティブ制度の変更
4. 海外の注目動向



本プレゼンテーションの内容は、
弊社の顧客向けレポートなどに掲載された情報等を元に作成しています

第7次エネルギー基本計画で動き出す太陽光発電事業

太陽光発電ビジネスガイド (2025年版)

2025年7月

株式会社資源総合システム

目次

1 太陽光発電の導入状況

- 1.1 世界の導入状況
- 1.2 国内の導入状況

2 再エネ大量導入の道筋

- 2.1 第7次エネルギー基本計画に見る大量導入展開の柱
- 2.2 大導入期における事業構造と戦略
- 2.3 新たな導入目標設定による求められる市場規模＝伸びる市場

3 2050年カーボンニュートラルに向けた関連省庁の政策

- 3.1 「カーボンニュートラル宣言」以降の太陽光発電普及への政府の動き
- 3.2 政府の動向 GX2040ビジョン
- 3.3 経済産業省の動向
- 3.4 環境省の動向
- 3.5 国土交通省の動向
- 3.6 農林水産省の動向
- 3.7 内閣府の動向

4 電力系統（ネットワーク）の原則と太陽光発電設備、電力を扱う事業

- 4.1 電力系統（ネットワーク）の原則
- 4.2 太陽光発電システムの基本的な構成
- 4.3 電力の市場取引
- 4.4 電力を取引する事業者
- 4.5 アグリゲーターの役割

5 未利用場所での太陽光発電

- 5.1 デュアルユースとは
- 5.2 政策の方向性・補助金
- 5.3 営農型太陽光発電
- 5.4 水上太陽光発電
- 5.5 BIPV
- 5.6 ソーラーカーポート
- 5.7 道路・鉄道太陽光発電

6 FIT制度からFIP制度へ電力市場への統合

- 6.1 FITからFIPへ再エネの電力市場への統合
- 6.2 FIP制度の活用状況
- 6.3 FIT/FIP制度の変遷と今後
- 6.4 FIP電源の促進政策
- 6.5 FIP制度の概要
- 6.6 FIP制度を利用したビジネスモデルと事例

7 PPAと自己所有を中心とした再エネの調達

- 7.1 持続可能な企業活動への再エネ調達の動向
- 7.2 再エネ電力・再エネ価値の調達方法
- 7.3 政策の動向・補助金
- 7.4 PPAの課題とビジネス
- 7.5 自家消費太陽光発電のビジネスモデルと事例
- 7.6 オンサイトPPAのビジネスモデルと事例
- 7.7 オフサイトPPAのビジネスモデルと事例

8 太陽光発電ビジネスの類型と業界構造

9 運転開始後の太陽光発電を支えるビジネス

- 9.1 太陽光発電所の運用
- 9.2 太陽光発電所の維持、管理
- 9.3 太陽光発電所の価値向上と評価
- 9.4 セカンダリビジネス

10 今後が注目される分野

- 10.1 ペロブスカイト太陽電池の最新動向
- 10.2 産業用蓄電池 ビジネスモデルと収益シミュレーション
- 10.3 リサイクル・リユース

※内容は一部変更される可能性があります

国内の重要動向

弊社月刊レポート「太陽光発電情報（7月号）（2025年6月総括）」より

2025年7月18日

株式会社資源総合システム
江澤

TEL:03-3551-6345 E-mail : info@rts-pv.com URL: <http://www.rts-pv.com>

© 2025 株式会社資源総合システム 無断複写・複製、無断転載を禁止します。

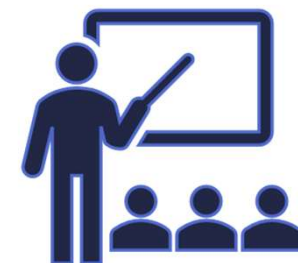
太陽光発電情報の目次（一部）

1.1	2025年6月の視点	1
1.2	RTS PV 概況	3
1.3	フォーカス	11
	Ⅰ. 第18回SNEC国際太陽光発電・スマートエネルギー展示会・会議	11
	Ⅱ. 第74回再生可能エネルギー大量導入・次世代電力NW小委員会(6月3日)	15
	Ⅲ. 第3回次世代電力システムワーキンググループ(6月27日)	16
	Ⅳ. 太陽光第24回入札の結果	19
	Ⅴ. 規制改革実施計画(6月13日閣議決定)	20
	Ⅵ. 最新の認定及び運開状況	21
1.4	導入事例	22
	商業施設用太陽光発電システム（イオンモール日の出太陽光発電設備）	
1.5	国内の重要動向	24
	(1) 政府・関連機関関係（10件）	25
	(2) 地方自治体関係（29件）	26
	(3) 電力会社・関連機関（8件）	29
	(4) 太陽電池関連部材・部品・製造装置関係（1件）	30
	(5) 太陽電池製造関係（6件）	30
	(6) 太陽光発電システム周辺機器（BOS）関係（7件）	31
	(7) 太陽光発電システム関係（33件）	32
	(8) 蓄電システム関係（12件）	37
	(9) 太陽光発電事業関係（14件）	38
	(10) 金融関連事業（3件）	40
	(11) 研究開発・技術開発（8件）	40
	(12) エンドユーザー・その他（1件）	40

「海外の重要動向&国内の重要動向」

開催日時：2025年7月18日（金） 15時30分～16時30分

- ①海外の重要動向
- ②新刊「太陽光発電ビジネスガイド」（2025年版）
- ③国内の重要動向
- ④質疑応答



**本日のオンラインセミナーは終了いたしました。
ご参加いただきありがとうございました。**

アンケートへのご協力をお願いいたします

次回オンラインセミナー開催予定日：
2025年8月21日（木曜日）

本オンラインセミナーの録音およびプレゼンテーション資料をダウンロードするパスワードは、ご参加いただきました皆様に、後日メールにてご案内させていただきます。

今後のオンラインセミナー開催については、内容等詳細決まり次第、ご案内申し上げます。



www.rts-pv.com